

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和3年度 第4回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和3年8月25日(水) 14時00分～16時00分
開催場所	高松市役所 3階 32会議室
議 題	令和3年度高松市外部評価（第2日目） (1) テレビ放送等広報事業 (2) 母子健康相談事業
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	石川委員、大美委員、沖田委員、肥塚委員、関委員、 田井委員、竹内委員、永森委員、野村委員
傍 聴 者	3人（定員8人）
担当課及び 連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

### 審議経過及び結果

#### 令和3年度高松市外部評価（第2日目）

##### （1）テレビ放送等広報事業

**判定結果**      **改善**

**評価の趣旨**      ケーブルテレビでの情報発信は、加入世帯数からみて、その効果に課題がある。Y o u T u b eなどのSNSでの情報収集が、若い世代を中心とした幅広い世代に広がっていることから、より一層SNSを活用した広報手段を検討する必要がある。また、収録した番組をDVD等にまとめて教育機関等に提供するなど、情報の受け手である市民のシビックプライドを醸成するための効果的な広報活動が必要である。

**主な意見**      ・歴史・文化広報番組をDVD等の記録媒体にまとめ、小学校や図書館等に提供し、本市の魅力を知ってもらうためのツールとして活用してはどうか。

- ・ケーブルテレビの地域に密着した放送を楽しみにしている方がいる一方で、若年層などテレビ離れをしている世代もあり、情報が欲しいときに閲覧できるような媒体での情報発信も必要である。
- ・ケーブルテレビの予算が突出しているが、なぜ全世帯が視聴できないケーブルテレビを重視するのか、もっとコストパフォーマンスの良い効果的な広報手段を選択してはどうか。
- ・事業目的や目標を明確にして番組制作を行い、市民に興味をもってもらう工夫が必要である。
- ・広報紙等で、もっと広報番組を周知してはどうか。

## (2) 母子健康相談事業

### 判定結果 改善

評価の趣旨      コロナ禍においては、妊産婦が孤立しやすく、母子健康相談事業は大変重要な事業であることから、直接面談とオンライン相談を市民ニーズにあわせて速やかに実施できる相談体制の構築や、NPO法人等の関係機関との連携を強化するなど、事業の拡充を検討していただきたい。

主な意見

- ・子育て世代の目に触れやすいSNS等での相談窓口の広報を検討するとともに、気軽に相談してもらうために、相談機関を身近に感じてもらえるような工夫をしてはどうか。
- ・需要が多い専門相談では数か月待ちのことがあるため、相談までの期間を短くするとともに、その間に子育て相談支援等を行っているNPO法人等の関係機関を紹介するなど、相談者の不安を軽減させるための方策を検討してはどうか。
- ・コロナ禍でも相談ができるように、オンライン相談を積極的に活用したり、SNS等で気軽に相談ができるようにするなど、相談までのスピードアップを図れるような体制を構築するとともに、マンパワーが足りないところは、適宜デジタル化を進めてはどうか。
- ・コロナ禍における相談体制に対するアンケート調査を実施し、市民の意見を聞いてはどうか。